

2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤原 誠

問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）山本 雄一 TEL 0267-23-1560

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第1四半期	11,341	20.1	2,586	25.7	2,735	11.2	1,899	11.0
2025年9月期第1四半期	9,440	17.4	2,057	26.1	2,459	103.3	1,711	95.4

（注）包括利益 2026年9月期第1四半期 3,290百万円（△14.8％） 2025年9月期第1四半期 3,861百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	126.70	—
2025年9月期第1四半期	114.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第1四半期	79,502	59,238	74.4
2025年9月期	78,386	58,946	75.1

（参考）自己資本 2026年9月期第1四半期 59,179百万円 2025年9月期 58,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	200.00	200.00
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		0.00	—	200.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	46,800	7.2	11,500	8.1	11,600	6.3	8,100	4.6	540.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期1Q	14,991,108株	2025年9月期	14,991,108株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	50株	2025年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期1Q	14,991,058株	2025年9月期1Q	14,991,144株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetおよび当社ウェブサイトにて同日掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
3. 補足情報	12
受注及び販売の実績	12
4. その他	13
(1) 役員の異動	13
(2) その他	13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年10月1日～2025年12月31日、以下当四半期)の世界経済は、インフレ鎮静化に伴う欧米の金融緩和継続の一方で、米国の通商・関税政策への警戒感から先行き不透明感が高まる局面となりました。地域別では、米国は個人消費が底堅いものの設備投資には慎重な姿勢が見られ、欧州は利下げ効果が限定的で回復は緩慢となり、中国は不動産不況と外需悪化により停滞が続きました。一方、インドは旺盛な内需に加え、製造業振興の補助金政策による生産拡大を背景に高い成長を維持しました。総じて、地政学リスクや通商環境の変化に対する懸念から、依然として予断を許さない状況が続きました。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

この結果、当四半期の受注成績につきましては、期中にドイツで開催された世界最大のプラスチック展示会「K2025」を始めとした主要展示会で獲得した引き合いを着実に契約につなげた結果、受注高は15,419百万円(前年同期比123.6%)と四半期として過去最高を記録し、受注残高も21,312百万円(前年同期末比99.6%)と、過去2番目の好成績となりました。

売上成績につきましても、全製品で販売を伸ばした結果、売上高は11,341百万円(前年同期比120.1%)と、第1四半期として過去最高となりました。

利益面につきましては、売上規模の増加に加え、製品・地域ミックスに恵まれた結果、展示会の一過性費用を吸収し、売上総利益は5,453百万円(同123.3%)、営業利益は2,586百万円(同125.7%)とそれぞれ大幅増益となりました。その結果、経常利益は2,735百万円(同111.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益も1,899百万円(同111.0%)と増益となり、各段階利益において第1四半期として過去最高を記録しました。

当四半期における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前第1四半期	9,440	4,422	2,057	2,459	1,711
当第1四半期	11,341	5,453	2,586	2,735	1,899
前年同期比	120.1%	123.3%	125.7%	111.2%	111.0%

製品別の業績は次のとおりであります。

製品別受注状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前第1四半期	6,098	4,202	693	1,480	12,475
当第1四半期	8,470	4,514	801	1,633	15,419
前年同期比	138.9%	107.4%	115.5%	110.3%	123.6%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前第1四半期	4,570	2,881	559	1,429	9,440
当第1四半期	5,405	3,709	623	1,603	11,341
前年同期比	118.3%	128.7%	111.4%	112.2%	120.1%

① ストレッチブロー成形機

機械の需要は、好調な中小型機、堅調な大型機となった結果、当四半期の受注高は8,470百万円（前年同期比138.9%）と大きく増加し、四半期として過去最高となりました。売上高につきましては、大型機は納期の関係で減少したものの、主力の中小型機がほぼ全地域で売上を伸ばした結果、5,405百万円（同118.3%）と増収となりました。

② 金型

旺盛なプラスチック容器需要を背景に、金型需要は全世界で堅調に推移しました。その結果、当四半期の受注高は4,514百万円（同107.4%）、売上高は3,709百万円（同128.7%）と増加し、それぞれ四半期として過去最高を記録しました。

③ 部品その他

保守・サービスの需要は全世界で高まっており、引き続き好調に推移しました。その結果、当四半期の受注高は1,633百万円（同110.3%）、売上高は1,603百万円（同112.2%）と増加し、それぞれ四半期として過去最高を記録しました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別受注状況

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第1四半期	4,237	2,401	3,914	1,922	12,475
当第1四半期	5,661	2,878	4,526	2,353	15,419
前年同期比	133.6%	119.9%	115.6%	122.4%	123.6%

セグメント（地域）別売上高状況

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第1四半期	2,990	1,610	2,940	1,898	9,440
当第1四半期	3,732	2,393	3,364	1,851	11,341
前年同期比	124.8%	148.6%	114.4%	97.5%	120.1%

セグメント（地域）別利益

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第1四半期	491	242	501	1,854	3,090
当第1四半期	208	409	761	2,263	3,642
前年同期比	42.5%	168.7%	151.9%	122.0%	117.9%

① 米州

中南米市場は米国政権の通商・関税政策の影響により国ごとに濃淡はあるものの、全体としては堅調に推移しました。一方、北米市場は旺盛な購買力を背景とした実質的な需要の増加（販売台数の増加）に加え、関税コストの一部を価格に転嫁したことにより、受注・売上ともに大きく増加しました。その結果、当四半期の受注高は5,661百万円（前年同期比133.6%）と四半期として過去最高となりました。売上高につきましても、北米市場が牽引した結果、3,732百万円（同124.8%）と高水準となりました。一方、セグメント利益は、関税コストの一部負担や展示会費用の増加により、208百万円（同42.5%）と減益となりました。

② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、生活必需品に根差した当社製品の需要は底堅く、ビジネス活動は欧州全域で活発に推移しました。その結果、当四半期の受注高は2,878百万円（同119.9%）、売上高は2,393百万円（同148.6%）と、それぞれ四半期として過去最高となりました。セグメント利益も増収効果等により展示会費用を吸収し、409百万円（同168.7%）と増益となりました。

③ 南・西アジア

東南アジア市場は市況回復に時間を要しているものの、インド及び中東市場が好調に推移した結果、当四半期の受注高は4,526百万円（前年同期比115.6%）と四半期として過去最高となりました。売上高につきましても、主にインド市場が好調に推移した結果、3,364百万円（同114.4%）と最高水準を維持し、セグメント利益も761百万円（同151.9%）と増益となりました。

④ 東アジア

中国の設備投資需要には未だ陰りがみられるものの、生活必需品に根差した金型需要が域内で堅調に推移した結果、当四半期の受注高は2,353百万円（前年同期比122.4%）と増加しました。一方、売上高につきましても、中国向け機械の出荷減少、日本向け大型機の出荷減少等により、1,851百万円（同97.5%）と減少しました。なお、セグメント利益は製品ミックスの改善等により、2,263百万円（同122.0%）と増益となりました。

(2) 財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ625百万円増加し、62,102百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ491百万円増加し、17,400百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ1,116百万円増加し、79,502百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,097百万円増加し、13,988百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ272百万円減少し、6,276百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ291百万円増加し、59,238百万円となりました。

（資産、負債及び純資産の状況）

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
前期末	61,477	16,908	12,891	6,548	58,946
当期間末	62,102	17,400	13,988	6,276	59,238

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、2025年11月12日公表の予想に変更はありません。

（注）当四半期の経営成績の分析、詳細については、本日TDnet及び以下当社ウェブサイトに掲載しました決算補足資料をご参照ください。

（URL：<https://www.nisseiasb.co.jp/ja/ir/library/investment-seminar/>）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,469	31,223
受取手形及び売掛金	9,430	9,759
商品及び製品	2,643	3,032
仕掛品	7,542	7,650
原材料及び貯蔵品	7,528	8,243
その他	2,003	2,368
貸倒引当金	△140	△175
流動資産合計	61,477	62,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,945	4,999
機械装置及び運搬具（純額）	4,963	4,952
土地	1,988	1,988
その他（純額）	2,773	3,137
有形固定資産合計	14,670	15,077
無形固定資産	177	179
投資その他の資産		
投資有価証券	775	826
その他	1,380	1,416
貸倒引当金	△95	△100
投資その他の資産合計	2,060	2,142
固定資産合計	16,908	17,400
資産合計	78,386	79,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,219	1,823
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	1,290	980
契約負債	4,764	6,023
賞与引当金	634	430
役員賞与引当金	43	12
その他	2,445	3,223
流動負債合計	12,891	13,988
固定負債		
長期借入金	4,624	4,250
役員退職慰労引当金	627	652
退職給付に係る負債	1,132	1,217
その他	164	155
固定負債合計	6,548	6,276
負債合計	19,439	20,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	50,855	49,756
自己株式	—	△0
株主資本合計	57,912	56,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	440	475
為替換算調整勘定	639	2,013
退職給付に係る調整累計額	△103	△122
その他の包括利益累計額合計	976	2,366
非支配株主持分	57	58
純資産合計	58,946	59,238
負債純資産合計	78,386	79,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,440	11,341
売上原価	5,017	5,887
売上総利益	4,422	5,453
販売費及び一般管理費	2,364	2,867
営業利益	2,057	2,586
営業外収益		
受取利息	49	68
受取配当金	7	10
為替差益	343	74
その他	33	33
営業外収益合計	433	186
営業外費用		
支払利息	8	7
固定資産除却損	9	0
訴訟関連費用	3	19
その他	8	9
営業外費用合計	30	37
経常利益	2,459	2,735
税金等調整前四半期純利益	2,459	2,735
法人税、住民税及び事業税	804	766
法人税等調整額	△54	72
法人税等合計	749	839
四半期純利益	1,710	1,896
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,711	1,899

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,710	1,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	35
為替換算調整勘定	2,081	1,378
退職給付に係る調整額	△2	△19
その他の包括利益合計	2,150	1,393
四半期包括利益	3,861	3,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,859	3,289
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

インドの連結子会社 (ASB INTERNATIONAL PVT. LTD.) はインド国税当局より、関係会社間取引価格等に関し、下表表示の同社決算期 (3月期) 4期を対象として更正通知を受けております。インド国税当局の指摘は正当な根拠を欠くものであり、当該更正処分について承服できる内容でないことから、同社はインド国税当局 (紛争解決委員会) に対し、各決算期についてそれぞれ異議申立書を提出いたしました。異議申立が却下された各決算期については、税務裁判所へ提訴するとともに、相互協議申立を進め、引続き当社および連結子会社の見解の正当性を主張してまいります。

なお、2012年3月期、2013年3月期、2014年3月期および2016年3月期については、税務裁判所において、インド国税当局の更正通知の決定を取り消し、本件の審理を同当局へ差し戻す旨の判決がありました。そのうち、2012年3月期および2013年3月期は再調査が行われないまま時効を迎えており、税務調査官との面談により、上訴の意向がないことを確認いたしました。また、2014年3月期および2016年3月期については、税務当局により再評価が行われた結果、当社の主張が適正と認められました。よって、これらの4期については偶発債務より除外しております。

同社が更正通知を受け、未解消となっている案件の決算期ごとの状況は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
(1) 2015年3月期		
更正通知の受領	2018年12月12日	2018年12月12日
更正通知税額	126百万インドルピー (213百万円)	126百万インドルピー (222百万円)
異議申立書の提出	2019年1月11日	2019年1月11日
申立却下の決定	2019年9月24日	2019年9月24日
税務裁判所へ提訴	2019年12月30日	2019年12月30日
更正通知税額	126百万インドルピー (213百万円)	126百万インドルピー (222百万円)
(2) 2017年3月期		
更正通知の受領	2021年4月20日	2021年4月20日
更正通知税額	63百万インドルピー (106百万円)	63百万インドルピー (111百万円)
異議申立書の提出	2021年5月29日	2021年5月29日
申立却下の決定	2022年2月17日	2022年2月17日
税務裁判所へ提訴	2022年4月12日	2022年4月12日
更正通知税額	80百万インドルピー (136百万円)	80百万インドルピー (142百万円)
(3) 2018年3月期		
更正通知の受領	2021年9月22日	2021年9月22日
更正通知税額	98百万インドルピー (166百万円)	98百万インドルピー (173百万円)
異議申立書の提出	2021年10月21日	2021年10月21日
申立却下の決定	2022年8月29日	2022年8月29日
税務裁判所へ提訴	2022年10月27日	2022年10月27日
更正通知税額	97百万インドルピー (164百万円)	97百万インドルピー (171百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
(4) 2020年3月期		
更正通知の受領	2023年9月29日	2023年9月29日
更正通知税額	51百万インドルピー (86百万円)	51百万インドルピー (90百万円)
異議申立書の提出	2023年10月23日	2023年10月23日
申立却下の決定	2024年7月5日	2024年7月5日
税務裁判所へ提訴	2024年8月30日	2024年8月30日
更正通知税額	87百万インドルピー (148百万円)	87百万インドルピー (154百万円)

(注) 更正通知受領時と税務裁判所提訴時の更正通知税額の差額は、更正通知税額の増減及び金利相当分の増加であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	476百万円	483百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,990	1,610	2,940	1,898	9,440	—	9,440
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,990	1,610	2,940	1,898	9,440	—	9,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	30	3,038	4,688	7,786	△7,786	—
計	3,018	1,641	5,979	6,587	17,226	△7,786	9,440
セグメント利益	491	242	501	1,854	3,090	△1,032	2,057

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,032百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△735百万円、セグメント間取引消去△297百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	3,732	2,393	3,364	1,851	11,341	—	11,341
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,732	2,393	3,364	1,851	11,341	—	11,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	34	3,234	5,404	8,714	△8,714	—
計	3,773	2,427	6,599	7,255	20,056	△8,714	11,341
セグメント利益	208	409	761	2,263	3,642	△1,055	2,586

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,055百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△899百万円、セグメント間取引消去△156百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	6,098	12,349	8,470	12,052	138.9	97.6
金型	4,202	7,051	4,514	7,462	107.4	105.8
付属機器	693	1,607	801	1,453	115.5	90.4
部品その他	1,480	392	1,633	344	110.3	87.8
合計	12,475	21,400	15,419	21,312	123.6	99.6

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	4,237	6,671	5,661	7,582	133.6	113.7
欧州	2,401	2,786	2,878	4,110	119.9	147.5
南・西アジア	3,914	5,903	4,526	5,150	115.6	87.2
東アジア	1,922	6,038	2,353	4,469	122.4	74.0
合計	12,475	21,400	15,419	21,312	123.6	99.6

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	4,570	48.4	5,405	47.7	118.3
金型	2,881	30.5	3,709	32.7	128.7
付属機器	559	5.9	623	5.5	111.4
部品その他	1,429	15.2	1,603	14.1	112.2
合計	9,440	100.0	11,341	100.0	120.1

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	2,990	31.7	3,732	32.9	124.8
欧州	1,610	17.1	2,393	21.1	148.6
南・西アジア	2,940	31.1	3,364	29.7	114.4
東アジア	1,898	20.1	1,851	16.3	97.5
合計	9,440	100.0	11,341	100.0	120.1

4. その他

(1) 役員の異動（2026年4月1日付）

代表取締役の異動（会長交代）

取締役 青 木 大 一 （現 代表取締役会長）

代表取締役会長 青 木 高 太 （現 取締役副社長）

代表取締役の異動の詳細につきましては、本日公表の「代表取締役の異動（会長交代）に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) その他

該当事項はありません。